

仙 台 支 部 総 会

笑 顔 の 交 歓 4 年 振 り

仙台支部の第44回総会・会員交流会が、7月8日（土）正午から、青葉区の「大観楼」で開催されました。参加は41名。4月に着任した佐藤秀美学校長、馬城会から村山会長と今野事務局長、元相馬高校教員の丹治章氏、相馬女子高卒の方4名の参加もありました。

上田昌孝^(※1)副支部長兼事務局長の進行で開会、校歌斉唱は、荒中^(※2)氏の歌唱前奏により全員で1番、6番を斉唱、佐藤昌利支部長の挨拶、祝辞は馬城会長と学校長。学校長からは相高生の活動も含め報告がありました。その後物故会員14名に対し全員で黙祷を捧げました。

議長に高玉昌一^(※3)氏が選出、立ったまま議事を極めてスムーズに進行しました。令和元年度から4年度までの庶務報告、会計報告がなされ、監査報告は、雁畑康男^(※4)氏が代表して行いました。

続いて、令和5年度予算（案）が承認され、役員改選は、満場一致で佐藤昌利支部長が再任、下記の全役員が承認されました。（敬称略：（ ）内は卒業年）

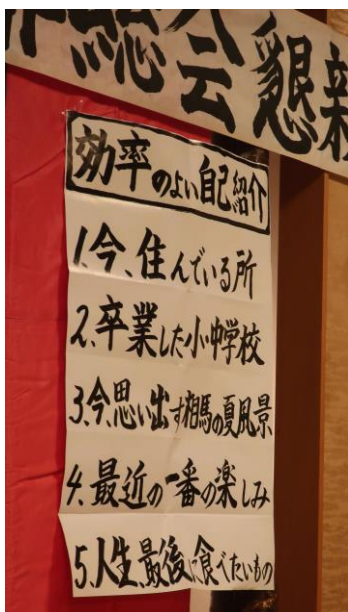
- | | |
|--------|------------------------|
| 1 支部長 | 佐藤 昌利 (昭和38年) |
| 2 副支部長 | 菊池 美春 (昭和37年) |
| | 高橋 和裕 (昭和44年) |
| | 上田 昌孝 (昭和48年) (兼事務局長) |
| | 青田 茂雄 (昭和49年) (兼副事務局長) |
| 3 監 事 | 高橋 信吾 (昭和48年) |
| | 田原 洋幸 (昭和48年) |

○支部長の委嘱による役員

- | | | |
|------|---------------|---------------|
| 幹 事 | 佐藤 隆章 (昭和43年) | 西谷 卓夫 (昭和45年) |
| | 大内 睦夫 (昭和45年) | 菅野 敏彦 (昭和46年) |
| 常任顧問 | 高橋 治 (昭和20年) | 佐藤 象朗 (昭和32年) |



懇親会では、出席者最長老の紺野要蔵^(※5)氏のお元気の乾杯発声がありました。コロナ禍により仙台支部4年振りの交流会であり、各テーブルを中心に、老舗鰻の大観楼の料理を味わいながら、話の花が咲きました。



馬城会としても、コロナ禍後初の飲食付き総会でした。

しばし歓談のあと、青田茂雄^(※6)副支部長兼副事務局長がマイクを握り、街頭録音よろしくユーモアを交えて「効率のよいインタビュー」下記5項目を、出席者41名全員に行いました。

- 1 今、住んでいる所
- 2 卒業した小・中学校
- 3 今、思い出す相馬の夏風景
- 4 最近の一番の楽しみ
- 5 人生最後に食べたいもの

久方ぶりの顔合わせであり、懇談の環があちこちにでき、名残惜しくはありましたが、2時半頃？中締めとなりました。

《参考》

『相中相高百年史』の「馬城会の歴史 (p. 611～)」に、「その発足は、本校第1回卒業生を出した直後の、1903 (明 36) 年4月のことである。」とある。(会員名簿の沿革では8月9日馬城会結成。)

馬城会に早くも支部の萌芽 (p. 615～) に、「仙台馬城会の芽生え」の項目があり、次の文が載っている。

1903 (明 36) 年11月3日、仙台に支部創設の動きが見られる。第1回卒業生三田四郎氏より、「仙台ニ支部設置シタキニツキ規約書ヲ送ラレタキ旨」(『記録』)依頼され、規約書を送付した。この記録から、馬城会本会の創設と同年度に、早くも仙台に支部の芽生えがあったものと思われる。このとき、三田四郎氏は、仙台第二高等学校に在学中であった。青雲の志を抱いて巣立っていった第1回生は、社会に活躍するためには、「同窓ノ好ミヲ重シ其ノ動静ヲ通報シ常ニ交誼ヲ厚ウスル」(『会則』)必要性を痛感し、同窓会を組織することに、積極的に動いていったのであろう。『学友会雑誌』(第1号明治39年3月)の『仙台通信』(客員三田坊＝三田四郎中1回)を紹介する。

同窓生で仙臺組に入つたものは、可成多い、しかしまだまだ勢力の微々たるもので、甘い事もできない、だに依つて、馬城會支部など標榜するほど大げさな事は出来ない、それ故、こゝにまだ支部なる名稱が成立しない、で相馬出身者にして在仙せるものは比較的やや多い、故にこゝに相馬會なるものは形成せられて苟しくも相馬に縁故のある者は、これに出席するの權利を有する者で、馬城會員も勢これに出席する事なれば、まづ馬城會を擴大したやうなものだ、初回はこれを當市片平町大観楼^(※7)で開いた、(以下略)。

(※1) 中村出身。馬城かわら版、第182号に、『相中相高百年史』「思い出の記」“夢食む日々”を転載。

(※2) 昭和48(1973)年卒、中村出身。馬城かわら版、第8号、第125号、第132号、第190号に新聞記事転載や関連記事。

(※3) 昭和48(1973)年卒、中村出身。

(※4) 昭和32(1957)年卒、中村出身。

(※5) 相中第47回、昭和23(1948)年卒、中村出身。

(※6) 飯豊出身。

(※7) 120年前の初回も「大観楼」で開催していた。

(転載&※脚注 村山)